

燕市の2事業が「チヨダ地域保健推進賞」受賞

－ 2年連続2つの事業で保健事業の取り組みが評価されました－

(一社)千代田健康開発事業団主催の令和2年度(第24回)保健活動助成制度「チヨダ地域保健推進賞」に、燕市で実施している「ハッピーベビークラブ(妊婦・両親学級)」と「3歳児健康診査における視覚検査」の2事業が受賞しました。当市の保健師等の活動が評価され、昨年度の健康づくり事業に引き続き、2年連続の受賞となります。これを契機に、今後も保健事業の推進に努めてまいります。

【保健活動助成の要旨】

各地域で保健師が中心となり、テーマを掲げて地域保健の推進において成果を上げている活動に対して顕彰し、その活動がより発展するよう助成金を贈呈するもの(助成件数:35件以内、助成金額:1件につき20万円)。

主催:一般社団法人 千代田健康開発事業団

後援:厚生労働省、全国保健所長会、全国保健師長会

表彰方法:受賞者へ表彰状を送付(12月中旬頃)



【受賞保健活動の概要】

1. ハッピーベビークラブ(妊婦・両親学級)

活動テーマ:「ハッピーベビークラブ」で育児を楽しむ意識づくり
～with コロナ時代の教室運営とつながりについて～

受賞団体:燕市健康福祉部健康づくり課

受賞内容:時代に応じて内容を見直し、新型コロナウイルス感染防止のために
集団指導から個別指導へと見直しを図ったこと



2. 3歳児健康診査における視覚検査

活動テーマ:3歳児健康診査における視覚検査の精度向上に向けた取り組み

受賞団体:燕市健康福祉部健康づくり課

受賞内容:遠視・近視などの屈折異常・斜視などの疾病の早期発見・早期治療の
ために3歳児健康診査時に視力検査に加え屈折検査を導入したこと

※(一社)千代田健康開発事業団:社会厚生事業を行うために「国民の健康を開発するための各種の活動を通じて、国民の保健と福祉に寄与する」ことを目的として、昭和41年設立。

「ふるさと燕」を守ろう!

新型コロナウイルス感染症緊急対策

フェニックスII+

本件についてのお問い合わせ先
健康福祉部 健康づくり課: 高野
電話:0256-93-5461(直通)